

施設の財務データ等の中間分析

～新公会計制度活用～

(令和3年度決算：区民集会施設)



令和6年2月

世田谷区

平成30年度から導入した新公会計制度の活用に基づく取組みの一つとして、令和3年度（令和元年度決算）に分析を実施した区民集会施設について、施設の運営状況等の現況を確認するため、個別分析対象施設を中心に施設の財務データ等（令和3年度決算）の中間分析を行う。

- 1 施設間比較・分析対象施設 98施設
 （区民会館8施設、区民センター13施設、地区会館48施設、
 区民集会所29施設）
- 2 個別分析対象施設 令和3年度（令和元年度決算）に抽出した22施設
 （区民会館1施設、地区会館14施設、区民集会所7施設）

3 施設間比較・分析

比較・分析項目	
1 利用率	利用率
2 費用	①㎡あたり総コスト
	②1件あたり総コスト
	③㎡あたり物件費等
	④1件あたり物件費等
3 対前年増減率	光熱水費

※用語説明

総コスト	当該年度の施設別行政コスト計算書の費用の決算額 ただし、年度により変動の大きい投資的経費は除く
物件費等	当該年度の総コストから非現金コスト（減価償却費、その他、配賦人件費、 配賦間接コスト）を控除した金額
㎡あたり	施設概要で公表する各施設の専有面積あたりの費用で比較
1件あたり	集計された各施設の予約件数あたりの費用で比較

※令和元年度決算の利用率については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、平成30年度と令和元年度の2ヵ年平均とする。

※数値について、端数処理により個々の数値合計が一致しない場合あり。

4 施設の利用休止期間（新型コロナウイルス感染症拡大防止策）

令和2年度	令和2年4月から6月
令和3年度	令和3年4月から5月

※上記利用休止期間以外に短縮営業期間あり。

5 個別分析票の作成

個別分析対象となった施設に対し個別分析票（令和元年度決算と令和3年度決算比較）を作成し、考察等に対する、見解、原因、今後の方向性などを検討する。